

2025年度 取締役会実効性評価 アンケート集計結果

高い透明性とさらなるガバナンス向上に向けた現状分析

FY2025 Board of Directors Effectiveness Evaluation Report

全15設問・総投票数において 「課題・不十分」ゼロの完全な肯定的評価を達成

Legend Box

- 1. 適切
- 2. 概ね適切
- 3. 課題あり (0票)
- 4. 不十分 (0票)



2025年度の実効性評価では、すべての回答が『適切』または『概ね適切』に分類されました。
本資料では、各大区分ごとに集計結果を可視化し、さらなる最適化に向けたフォーカス領域を抽出します。

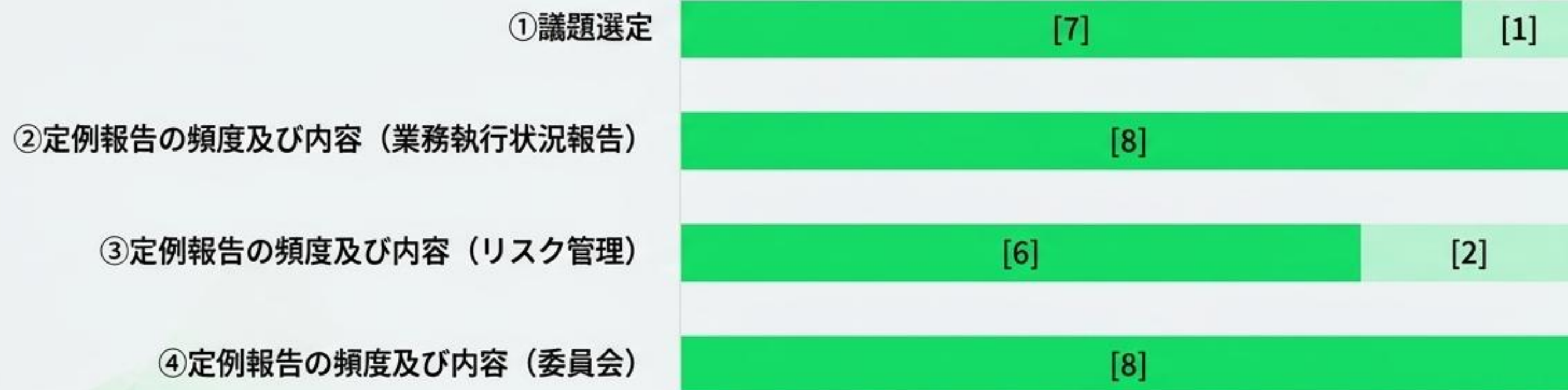
1. 取締役会の運営：開催頻度と各議案説明において極めて高い満足度



運営面は強固な基盤を確立。「開催頻度」「各議案の説明」は7票が『適切』。
今後の微細な改善点として「資料構成」「議論の充実」「情報提供」が挙げられます。

2. 取締役会の議題：業務執行および委員会報告において「満点評価」を獲得

■『1. 適切』 ■『2. 概ね適切』 ■『3. 課題あり』(0) ■『4. 不十分』(0)



業務執行状況および委員会の定例報告において、全員が『1. 適切』と回答する完璧なアラインメントを確認。リスク管理報告も堅調です。

3. 取締役会の機能：全体として健全に機能する一方、自己評価プロセスに伸び代

■『1. 適切』 ■『2. 概ね適切』 ■『3. 課題あり』 (0) ■『4. 不十分』 (0)

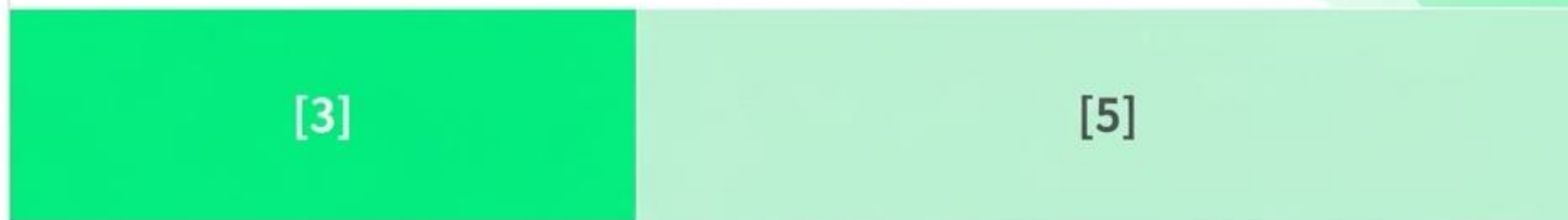


戦略的議論や多角的な検討は適切に機能。「取締役個人の自己評価」(5票が概ね適切)や「リスクテイクを支える環境整備」(4票が概ね適切)において次年度の高度化に向けたフォーカス領域が確認できます。

4. 取締役会の構成：バランス・多様性・規模における現状と今後の最適化

■ 『1. 適切』 ■ 『2. 概ね適切』 ■ 『3. 課題あり』 (0) ■ 『4. 不十分』 (0)

取締役会メンバーの
バランス、多様性、規模



バランス



多様性



規模

否定的な意見は皆無であるものの、『2.概ね適切』が過半数 (5票)を占めました。組織の成長フェーズに合わせたスキルマトリクスの定期的な見直しや多様性確保への意識の表れと解釈できます。

次年度に向けたガバナンス最適化フォーカス領域

Perfect Scores / 8票 適切

- 業務執行状況の定例報告
- 委員会の定例報告

Analysis: 基礎的なガバナンス・モニタリング機能は完全に定着。現状の高品質なプロセスを継続。



High Potential for Optimization / 概ね適切が多数

- 取締役個人の自己評価
(適切:3 / 概ね適切:5)
- 構成のバランス・多様性・規模
(適切:3 / 概ね適切:5)
- 適切なリスクテイクを支える環境整備
(適切:4 / 概ね適切:4)

Analysis: 個人パフォーマンスの評価プロセス向上と、取締役会構成（多様性等）の持続的なアップデートが次なる成長の鍵。

